

答申（案）

館山市長 森 正一 様

館山市総合計画審議会
会 長 安田 信之

「第5次館山市総合計画」について（答申）

令和6年7月25日付け館企第18号をもって諮問のあった「第5次館山市総合計画」の策定について、次のとおり答申します。

答 申

当審議会では、市民意識調査や高校生意識調査、地区別懇談会、パブリックコメントなどを通じ、広く市民の意見を取り入れながら、総合計画に係る審議を慎重に重ね、令和8年度から令和17年度までを計画期間とする総合計画案を取りまとめました。

まちの将来像とした「みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山」の実現に向け、下記事項に留意しながら、変化し続ける社会情勢にしなやかに対応し、急速な人口減少の抑制や市民の幸福度の向上を目指した施策の展開が図られることを要望します。

記

1. 市民をはじめ、関係団体や企業などの多様な主体と行政とが連携を深め、組織の枠組みにとらわれず、一体となって協働することにより計画を推進されたい。
また、広域的な課題への対応に当たっては、千葉県や関係市町との連携を強化されたい。
2. 地域の特色や資源に磨きをかけ、当市の新たな魅力や価値を創出することで交流人口や関係人口の拡大を図り、地域経済の更なる発展を目指すとともに、当市への愛着を高め、定住の地として選ばれるまちとなるよう効果的な取組を推進されたい。
3. 人口減少や少子高齢化への対応と、激甚化・頻発化する自然災害等による被害を最小限に抑えるために、コンパクトで効率的かつすべての世代の市民が暮らしやすいと感じられるまちづくりを推進されたい。
4. 将来にわたって持続可能なまちになるべく、長期的な視点に立った事業の選択と集中により、人口規模や財政状況に応じた戦略的な行財政運営に努められたい。

以上

答 申

当審議会では、市民意識調査や高校生意識調査、地区別懇談会、パブリックコメントなどを通じ、広く市民の意見を取り入れながら、総合計画に係る審議を慎重に重ね、令和8年度から令和17年度までを計画期間とする総合計画案を取りまとめました。

まちの将来像とした「みんなが主役 住んで楽しい 来て楽しい まち・館山」の実現に向け、下記事項に留意しながら、変化し続ける社会情勢にしなやかに対応し、急速な人口減少の抑制や市民の幸福度の向上を目指した施策の展開が図られることを要望します。

※基本構想において「達成すべき指標（KGI）」として「急速な人口減少の抑制」と「市民の幸福度の向上」を挙げています。

記

1. 市民をはじめ、関係団体や企業などの多様な主体と行政とが連携を深め、組織の枠組みにとらわれず、一体となって協働することにより計画を推進されたい。
また、広域的な課題への対応に当たっては、千葉県や関係市町との連携を強化されたい。

※協働のまちづくりの重要性

2. 地域の特色や資源に磨きをかけ、当市の新たな魅力や価値を創出することで交流人口や関係人口の拡大を図り、地域経済の更なる発展を目指すとともに、当市への愛着を高め、定住の地として選ばれるまちとなるよう効果的な取組を推進されたい。

※地域経済の発展、定住人口の増加

⇒前期基本計画第2章 プロジェクト1・2

3. 人口減少や少子高齢化への対応と、激甚化・頻発化する自然災害等による被害を最小限に抑えるために、コンパクトで効率的かつすべての世代の市民が暮らしやすいと感じられるまちづくりを推進されたい。

※まちづくり（基本構想第2章「都市づくりの方向性」より抜粋）

⇒前期基本計画第2章 プロジェクト3

4. 将来にわたって持続可能なまちになるべく、長期的な視点に立った事業の選択と集中により、人口規模や財政状況に応じた戦略的な行財政運営に努められたい。

※行政が取り組むべきテーマ

⇒前期基本計画第2章 プロジェクト4

以上